

4-5 宗教学

研究・教育活動の概要と特色

大正13年(1924)7月に宗教学講座として開設された宗教学専攻分野の現代の特色は、昭和13年(1938)に就任した二代教授の石津照璽によりその方向付けがなされたものと言える。それは人間存在の基礎的場面における宗教性や宗教の根拠の追究を、哲学的・思想的な人文科学的宗教研究と、フィールドワークに基づく社会学的・人類学的・民俗学的な社会科学的宗教研究との統合の中に志向するところにあった。宗教現象を単に“個”の内面の問題としてだけ捉えるのではなく、また“群”としての集団の問題としてだけ捉えるのではなく、その両側面に目を配りながら包括することを志向する研究視角は、その後の伝統として本専攻分野の教育システムの中に取り入れられており、ここから巣立った研究者の中にそれぞれの個性を活かした形に花開いている。

研究生・聴講生を含め、本講座にこれまで在籍した学生・院生の総数は400名を越えている。現在の学部定員は一学年10名であるが、近年は定員を上回る進学希望者が継続してあり、全員の希望に応じられない状態が続いている。大学院に関しては、本学からの進学者のみならず、国内外の大学を卒業した日本人や海外からの留学生、さらには教員や臨床心理士、宗教者といった社会人を経た編入学者など、実に多様なメンバーで構成されている。

I 組織

1 教員数(2013年9月末現在)

教授：1

准教授：2

助教：1

教授：鈴木岩弓

准教授：木村敏明・山田仁史

助教：庄司一平

2 在学生数(2013年9月末現在)

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生
32	4	8	9	2

3 修了生・卒業生数（2009～2013年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
09	11	3	1
10	10	5	3
11	12	5	4
12	8	3	1
13	0	0	2
計	41	16	11

* 2013年度は、9月末までの数字

II 過去5年間の組織としての研究・教育活動（2009～2013年度）

1 博士学位授与

1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件数	論文博士授与件数	計
09	1	0	1
10	2	1	3
11	2	0	2
12	3	0	3
13	2	0	2
計	10	1	11

* 2013年度は、9月末までの数字

1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

Klautau, Orion、2009年度、「近代思想史としての仏教学—国民国家と僧風刷新の歴史記述—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・佐藤弘夫、准教授・木村敏明、准教授・山田仁史、教授・林 淳（愛知学院大学）

間宮啓壬、2010年度、「日蓮における宗教的自覚と救済—「こころみ」の宗教—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・佐藤弘夫、教授・戸島貴代志

大村哲夫、2010年度、「ホトケの救済に関する宗教心理学的研究—悟り・現世利益・終末期のヴィジョン—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・桜井宗信、准教授・木村敏明、
准教授・山田仁史

佐藤慎太郎、2010 年度、「近代の克服—エリアーデ宗教学の形成過程とその展開—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・後藤敏文、准教授・木村敏明、
教授・山田仁史

庄司一平、2011 年度、「〈人間性の宗教〉という理念—近代米国思想におけるその形成史—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・戸島貴代志、准教授・木村敏明

小田島建己、2011 年度、「《死者の結婚》を表す絵馬や人形—視覚化された「冥福」と人々の信仰—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・佐藤弘夫、准教授・木村敏明

阿部友紀、2012 年度、「龍澤山善宝寺における現世利益信仰—信者の祈願と寺院の生存戦略—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・桜井宗信、准教授・木村敏明、
准教授・山田仁史

相澤里沙、2012 年度、「越境する学知—インドネシアにおける『宗教』の形成とオランダ民族学」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・沼崎一郎、教授・弘末雅士（立教大学）、
准教授・木村敏明、准教授・山田仁史

澤井治郎、2013 年度、「現代アメリカにおける宗教思想の研究——パウル・ティリッヒとラインホルド・ニーバーの宗教思想」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・戸島貴代志、准教授・木村敏明、
准教授・山田仁史

斎藤喬、2013 年度、「畏れからホラーへ—アンドレ・ド・ロルドの諸戯曲にみる恐怖の論理化—」

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・戸島貴代志、准教授・木村敏明、
准教授・山田仁史

2 大学院生等による論文発表

2-1 論文数

年度	審査制学術誌 (学会誌等)	非審査制誌 (紀要等)	論文集 (単行本)	その他	計
----	------------------	----------------	--------------	-----	---

09	15	9	4	7	35
10	9	10	1	6	26
11	11	8	1	4	24
12	5	5	1	3	14
13	4	10	1	3	18
計	44	42	8	23	117

* 2013年度は9月末までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

2-2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
09	2	35	11	3	51
10	4	26	3	3	36
11	1	17	4	1	23
12	3	26	9	3	41
13	3	21	14	4	42
計	13	125	41	14	193

* 2013年度は9月末までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

(1) 論文

阿部友紀「現代祈祷寺院における仏教行事の成立」『論集』第34号、印度学宗教学会、2008年3月

アリマンシャル「ケガレ論再考—竹駒神社にみる祓い清め—」『東北民俗』第47輯、東北民俗の会、2013年6月

相澤里沙「宗教におけるトリックスターの役割—G・J・ヘルトにみる—」『論集』第38号、印度学宗教学会、2011年3月

王立雪「中世説話における蛇観念」『東北宗教学』第6号、東北大学宗教学研究室、2011年12月

大村哲夫「死者のヴィジョンをどう捉えるか—終末期における死の受容とスピリチュアル・ケア」『論集』第37号、印度学宗教学会、2010年12月

小田島建己「奉納のエコノミー —〈死者の結婚〉をプロモートするもの—」『東北文化研究室紀要』第51集、東北大学大学院文学研究科、2010年3月

クラウタウ、オリオン「〈日本仏教〉の誕生—村上専精とその学問的営為を中心

- に」『日本思想史研究』第42号、2010年3月
- 栗田英彦「国際日本文化研究センター所蔵静坐社資料—解説と目録—」、『日本研究』(第47号、国際日本文化研究センター)、2013年
- 黄緑萍「『奥州仙臺七福神』の成立と展開」、『東北民俗』第47輯、東北民俗の会、2013年6月
- 小林輝之「戦没者追悼の現在—宮城県塩竈市浦戸桂島地区の場合—」『東北文化研究室紀要』第51集、東北大学大学院文学研究科、2010年3月
- 斎藤喬「クリステヴァにおける唾棄すべきものの宗教性」『文化』第74巻3・4号、東北大学文学会、2011年3月
- 佐藤慎太郎「M. エリアーデにおけるブランクーシ解釈—「聖なるものの偽装」と現代芸術—」『論集』第36号、印度学宗教学会、2009年12月
- 澤井治郎「ラインホルド・ニーバーとパウル・ティリッヒにおける宗教理解の枠組み」『論集』第38号、印度学宗教学会、2011年12月
- 澤井真「ジュナイドの『原初の契約』におけるファナーとバカー」『オリエント』第54巻2号、社団法人日本オリエント学会、2011年
- 陳宗炫「ウィリアム・ジェイムズの回心論」『成人』第59号、2011年
- 鈴木文子「セビヨの著作にみる動物の『二元論的創造』」『東北宗教学』第5号、東北大学宗教学研究室、2009年12月
- 千葉暁子「山伏神楽における演目の成立と展開—岩手県の事例を中心として—」『東北民俗』第46号、東北民俗の会、2012年6月
- 土佐美菜実「『伝統』の継承と法典化を目指して—ネイティブ人類学者B. サンディにおけるアダット—」『文化』第75巻第1・2号、東北大学文学会、2011年9月
- 茂木謙之介「〈聖なる皇族〉研究序説—昭和戦前・戦中期宮城県〈御成〉の報道分析を中心に—」『東北宗教学』第5号、東北大学宗教学研究室、2009年12月

(2) 口頭発表

- AIZAWA, Risa, "The Concept of Religion in First Generation Anthropologists in Indonesia," New England Association for Asian Studies Conference, October, 22, 2011, Wellesley College.
- 阿部友紀「宗教民俗学における現世利益信仰の位置」第71回日本宗教学会(皇學館大學)、2012年9月9日

- アリマンシャル「ケガレからハレへ—竹駒神社の初午大祭を事例に—」第 55 回印度学宗教学会学術大会、駒沢女子大学、2013 年 6 月 2 日
- 王立雪「古代日本における蛇観念—『古事記』『日本書紀』『風土記』を通して—」印度学宗教学会第 54 回学術大会、東北福祉大学、2012 年 6 月 2 日
- 大蔵徳幸「現代の弥治郎集落にみる木地屋のアイデンティティ—」印度学宗教学会第 53 回学術大会、大阪国際大学、2010 年 5 月 30 日
- 大村哲夫「終末期患者の有する宗教性と死の受容」『ワークショップ：死生の意味するもの—一生と死を見つめる宗教心理学』日本心理学会、第 74 回大会（大阪大学）、2010 年 9 月 20 日
- 小田島建己「津波の被害を受けた墓 —宮城県岩沼市の事例—」印度学宗教学会第 54 回 年会、東北福祉大学、2012 年 6 月 2 日
- 工藤さくら「信仰実践にみる親族の位置—Gellner, D. N. の理論をめぐって—」第

55

- 回印度学宗教学会学術大会、駒沢女子大学、2013 年 6 月 2 日
- KLAUTAU, Orion. "The Discourse on Edo-period Buddhist Decadence: its Modern formation and historical meaning" International Conference Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan, Leiden University, The Netherlands, June 2, 2009.
- KURITA, Hidehiko. The 17th Asian Studies Conference Japan (J. F. Oberlin University), "The Historical Conditions of the Japanese Mind-cure Movement in the Early 20th Century", 29-30, June, 2013.
- 黄緑萍「流行と巡り—『奥州仙臺七福神』の成立と展開—」、印度学宗教学会第 55 回学術大会、駒沢女子大学、2013 年 6 月 2 日
- 小林輝之「死者の力—須賀川市における円谷幸吉をめぐる人々—」東北民俗の会、2009 年 12 月
- 斎藤喬「ジョルジュ・バタイユにおける命令的な排除行為とその快樂」第 54 回印度学宗教学会学術大会、東北福祉大学、2012 年 6 月 3 日
- 佐藤慎太郎「エリアーデ宗教学形成期におけるナエ・イヨネスクの影響」日本宗教学会、東洋大学、2010 年 9 月 5 日
- SAWAI, Jiro, "The "Dimension of Depth" in Reinhold Niebuhr and Paul Tillich," XXth World Congress of the International Association for the History of Religions, University of Toronto, August 19, 2010
- SAWAI, Makoto, "Toshihiko Izutsu's Weltanschauung (Worldview) of the Qur'an," Intellectual Youth Club of the International Islamic University Malaysia, Malaysia:

The International Islamic University Malaysia, 2012年5月12日.

陳宗炫「韓国の天理教における入信の過程とその分析」第55回印度学宗教学会学術大会、駒沢女子大学、2013年6月1日

鈴木文子「ブルターニュの『神』と『悪魔』」第849回2009年度民俗学関係修士論文発表会、成城大学、2010年5月9日

高棹健太「大和教団における教義形成と「巫者」の位置付けの変化」第55回印度学

宗教学会学術大会、駒沢女子大学、2013年6月1日

千葉暁子「山伏神楽における「神降ろし」と「神送り」の成立—岩手県の事例から—」第54回印度学宗教学会学術大会、東北福祉大学、2012年6月2日

東迅「「丑の刻参り」研究の現状と課題」第54回印度学宗教学会学術大会、東北福祉大学、2012年6月2日

土佐美菜実「英国植民地期サラワクにおけるアダットの成文化、日本宗教学会第71回学術大会、皇學館大学、2012年9月9日

茂木謙之介「皇族と地方—宮城県〈御成〉を事例に一」東北大学国史談話会2009年度大会、東北大学、2009年6月13日

森田敬史「医療現場の宗教者からみえてくる宗教的ケア」、日本宗教学会第71回学術大会パネル「公共空間における宗教的ケアのあり方—「臨床宗教師」の可能性—（代表者：高橋原）、皇學館大学、2012年9月8日

森田未咲「インドの月神話からみる世界観」第53回印度学宗教学会学術大会、2010年5月

門間全「仙台藩における陰陽道思想—名取春仲を中心に—」第54回印度学宗教学会学術大会、東北福祉大学、2012年6月2日

3 大学院生・学部生等の受賞状況

東北開発記念財団海外派遣援助、佐藤慎太郎「ルーマニア期エリアーデの活動とその展開—人間観・学問観を中心に—」、30万円、2009年

科学研究費補助金（特別研究費）、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、120万円、2009年

国際高等研究院「博士研究教育院生」、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、30万円、2009年

日本学術振興会特別研究員奨励費（DC1）、澤井真、「イスラーム神秘主義の思想と信仰に関する宗教学的的研究」、50万円、2009年

東北開発記念財団海外派遣援助、相澤里沙「インドネシア第一世代人類学者における「宗教」概念の成立に関する研究」、18万円、2010年

大畠記念宗教史学研究助成基金、相澤里沙「インドネシア第一世代人類学者における「宗教」概念の形成と展開」、35万円、2010年

松下幸之助記念財団研究助成、相澤里沙「オランダ民族学における宗教をめぐる学知の形成—インドネシアの「アニミズム」と「アダット」—」、50万円、2010年

科学研究費補助金（特別研究費）、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、80万円、2010年

国際高等研究院「博士研究教育院生」、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、63万円、2010年

東北開発記念財団海外派遣援助、澤井治郎、「アメリカにおけるキリスト教神学者による宗教思想とその社会的・政治的影響力」、25万円、2010年

科学研究費補助金（特別研究費）、澤井真、「イスラーム神秘主義の思想と信仰に関する宗教学的的研究」、50万円、2010年

科学研究費補助金（特別研究費）、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、80万円、2011年

国際高等研究院「博士研究教育院生」、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、63万円、2011年

Harvard-Yenching Institute (Visiting Fellow), Hidehiko KURITA, “The Formation and Development of Okada Torajirō’s Method of Still-Sitting: The Relationship between Spiritual Ideas and Bodily Techniques in Modern Japan,” 21,249USD, 2011.

科学研究費補助金（特別研究員奨励費）、澤井治郎、「現代アメリカにおける宗教思想と政治」、40万円、2011年度

大畠記念宗教史学研究助成基金、澤井真、「クルアーン解釈の思想史的展開—『原初の契約』を中心に—」、35万円、2011年

斉藤稜兒イスラム研究助成基金、澤井真、「クルアーンの解釈学的パースペクティヴに関する思想史的研究」、50万円、2011-12年

東北開発記念財団海外派遣援助金、澤井真、「イスラームにおける神と人間」、22万円、2011年

科学研究費補助金（特別研究員奨励費）、澤井治郎、「現代アメリカにおける宗教思想と政治」、40万円、2012年度。

経団連国際教育協力財団 2013年度日本人大学院奨学生、工藤さくら、「ネワー

ル都市農民カーストの神仏の形成（ネパール語）」、350万円／年、2013-14年

4 日本学術振興会研究員採択状況

- 2009年度 DC 受入 1人 (本研究室生の本研究室への採用・受入)
2010年度 外国人特別研究員 採用 1人 (本研究室生の他部局への採用)
2011年度 DC2 受入 1人 (本研究室生の本研究室への採用・受入)
DC1 受入 1人 (本研究室生の本研究室への採用・受入)
DC1 採用 1人 (本研究室生の他大学への採用)
2012年度 PD 採用 1人 (本研究室生の他大学への採用)
外国人特別研究員 採用 1人 (海外大学から本研究室への採用・受入)

5 留学・留学生受け入れ

5-1 大学院生・学部学生等の留学数

- 2009年度、学部、ストックホルム大学、スウェーデン
2011年度、大学院、トリブヴァン大学、ネパール
2011年度、大学院、マレーシア国際イスラーム大学、マレーシア
2011年度、大学院、ハーヴァード大学イェンチン研究所、アメリカ合衆国
2012年度、大学院、マレーシア国際イスラーム大学、マレーシア
2012年度、大学院、ハーヴァード大学イェンチン研究所、アメリカ合衆国
2013年度、大学院、アメリカン大学、エジプト
2013年度、大学院、トリブヴァン大学、ネパール

5-2 留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

年度	学部	大学院	計
09	2	1	3
10	1	3	4
11	1	2	3
12	6	3	9
13	4	5	9
計	14	14	28

6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
09	0	0	0
10	0	0	0
11	0	2	2
12	0	1	1
13	1	0	1
計	1	3	4

7 専攻分野出身の研究者・高度職業人（2009～2013年度）

7-1 専攻分野出身の研究者

アンドリュース・デール：東北学院大学 准教授 2012年度

滝澤克彦：東北大学東北アジア研究センター 教育研究支援者 2013年度

オリオン・クラウタウ：ハイデルベルグ大学 共同研究員 2013年度

7-2 専攻分野出身の高度職業人

中高教員数名、図書館司書1名、新聞記者1名 など

8 客員研究員の受け入れ状況（2009～2013年度）

国立北スマトラ大学教授 Hamzon SITUMORANG 2011年6月～9月

9 外国人研究者の受け入れ状況（2009～2013年度）

2009年 0人

2010年 1人

2011年 1人

2012年 1人

2013年 1人

10 刊行物

『東北宗教学』2005年より毎年刊行

11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2009年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

2010 年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

日本民俗学会第 62 回年会実行委員会事務局

2011 年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

「心の相談室」事務局

2012 年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

「心の相談室」事務局

2013 年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

「心の相談室」事務局

1 2 専攻分野主催の研究会等活動状況 (2009～2013 年度)

【2009 年度】

第 84 回宗教学研究会：2009 年 10 月 9 日 東北大学

SUZUKI Hikaru “Transformation of Japanese Way of Dying”

第 85 回宗教学研究会：2010 年 1 月 22 日 東北大学

天野和公 (みんなの寺坊守) 「〈みんなの寺〉開山記」

第 86 回宗教学研究会：2010 年 3 月 24 日 東北大学

小田島建己 (東北大学大学院後期課程) “Affectionate Communion in the
"Marriage of the Dead”

Grégory Delaplace (University of Cambridge, Research associate) “Forgetting
the dead in Mongolian ‘fields of silence’: The expanding cemeteries of
Ulaanbaatar”

【2010 年度】

第 87 回宗教学研究会：2010 年 4 月 23 日 東北大学

山形孝夫 (宮城学院女子大学名誉教授) 「黒いマリアの謎—『見えない

宗教』の人類学」

第 88 回宗教学研究会：2010 年 11 月 1 日 東北大学

林美容（台湾中央研究院教授）「魔神仔面面觀（モシナの諸相）」

第 89 回宗教学研究会：2010 年 12 月 10 日 東北大学

竹内泰（宮城大学准教授）

第 90 回宗教学研究会：2011 年 1 月 21 日 東北大学

松山茂（小国町教育委員会）「山形県小国町の信仰と民俗」

【2011 年度】

第 91 回宗教学研究会：2012 年 1 月 30 日 東北大学

出村みや子（東北学院大学教授）「アレクサンドリアの多文化主義的状況と宗教」

【2012 年度】

第 92 回宗教学研究会：2012 年 11 月 13 日 東北大学

徳田幸雄（東北大学大学院国際文化研究科）「回心一神と人との出会い—」

【2013 年度】

第 93 回宗教学研究会：2013 年 6 月 25 日 東北大学

斎藤喬（東北生活文化大学）「死者の現前—黒沢清『降霊』にみるホラーの翻案—」

1.3 組織としての研究・教育活動に関する過去 5 年間の自己点検と評価

現在の本研究室の教員スタッフは、教授 1・准教授 2 の計 3 名で構成されている。教員組織拡充の背景には、在学生定員が学部大学院の全ての学年において充足していることがある。この動向は 7、8 年前から始まったことで、全学教育における授業の充実化やインターネットによる大学院教育の紹介などが影響しているものと考えられる。

大学院における留学生受入も積極的に行っており、13 年度においては、外国人留学生の割合が大学院生の過半数を占めるに至っている。また社会人大学院生の受入も積極的に推進しており、これもまた常に在籍している。このような傾向は 8、9 年前からのことで、年齢・性別・国籍・宗教などはもちろん、卒業学部も多岐にわたる現在の研究室は、人間社会全体の縮図にも似たカオスの世界を現出しており、そのような多様性の中で過ごす研究生生活は、構成員相互に良い刺激をもたらしているものとする。

組織としての研究・教育活動のうち、まず教育面については、複数の課程博士の授与が 10 年度以降毎年続いていることが挙げられる。後期課程の大学院学生は継続的に在

籍しているが、フィールドワークやディシプリン横断的な研究において、実質2年半で博士論文を書き上げることは非常に困難であるため、留学や休学あるいは退学といった留年期間を経て学位取得に至る者も多い。博士課程の長期在籍には一長一短あるものの、着実な研究業績の蓄積が博士号取得へと通じる結果となっている。博士取得が就職の前提条件となっている現在の趨勢からすると、少なくともその第一段階はクリアできているものと思われる。

大学院生の業績に変化が見られるようになったのは、04年度に東京で開催されたIAHR（国際宗教学宗教史会議）の第19回世界大会がきっかけであった。この時には博士前期の一部を含む博士後期全員が英語もしくはフランス語で口頭発表するよう指導したが、これによりそれまで構成員の多くが持っていた言葉の“壁”の克服に大きな効果があった。以後、論文執筆にせよ口頭発表にせよ、自己の研究内容を他者に如何に伝えるかを意識するようになった。業績の内訳も、レフリー付きの雑誌への投稿、英語を用いた研究発表、隣接分野の学会および研究会への参加など、研究領域におけるグローバル化への対応準備が進んでいる。海外渡航者については、長期留学および3ヶ月未満の短期調査研究が毎年複数あり、学部学生の語学研修も見られる点は、今後の積極的指導によってさらに拡充すべきであると考えられる。

05年度以降、学振特別研究員のDC1に毎年新たな採用が見られたほか、PD、RPDを含め、毎年複数の学生が特別研究員として採用され在籍してきた。この点は、本研究室の大学院生の実力があるレベルを越えていることを示す証左と思われる。

Ⅲ 教員の研究活動（2009～2013年度）

1 教員による論文発表等

1-1 論文

鈴木岩弓「柳田國男と仙台」『東北民俗』第43輯、東北民俗の会、pp.1-9、2009年

鈴木岩弓「モリ供養とは何か」『庄内のモリ供養の習俗』山形県教育委員会、pp.137-143、2009年

鈴木岩弓「宗教的職能者と民俗信仰」宮本袈裟雄・谷口貢『日本の民俗信仰』八千代出版、pp.133-149、2009年

鈴木岩弓「山寺と死者供養」『山寺』、山形県立博物館、pp.66-70、2009年

鈴木岩弓「写真が語る現代人の絆」岩上真珠・鈴木岩弓・森謙二・渡辺秀樹共著『いま、この日本の家族一絆のゆくえ』、弘文堂、pp.52-89、2010年

鈴木岩弓「家亡き時代の絆の形成——柳田國男における〈家の寿命〉」岩上真珠・

- 鈴木岩弓・森謙二・渡辺秀樹共著『いま、この日本の家族—絆のゆくえ—』、弘文堂、pp.182-187、2010年
- 鈴木岩弓「与半跏趺坐地藏像有关的民間信仰」『民俗艺术学国际学术研讨会 会议论文集』 pp.110-113、2011年
- 鈴木岩弓「東日本大震災にみる土葬の復活—“あり得べき”死者の姿—」『エジプト・日本学術シンポジウム死者の追悼と文明の岐路 2011年 予稿集』東京大学、pp.83-94、2011年
- 鈴木岩弓「東日本大震災の土葬選択にみる死者観念」座小田豊・尾崎彰宏編『今を生きる 1 人間として』東北大学出版会、pp.103-121、2012年
- 鈴木岩弓「東日本大震災にみる土葬の復活—“あり得べき”死者の姿」大稔哲也、島菌進編『死者の追悼と文明の岐路 2011年のエジプトと日本』三元社、pp.94-106、2012年
- SUZUKI Iwayumi, *Dealing with the Dead: The Reemergence of Earth Burials after the Great East Japan Earthquake Commemorating the Dead in a Time of Global Crisis Egypt and Japan in 2011*, Global COE Program DALs, pp.93-105, 2012年
- SUZUKI Iwayumi, *Beyond Ancestor Worship: Continued Relationship with Significant Others* Hikaru Suzuki ed. *Death and Dying in Contemporary Japan*, Routledge, pp.141-156, 2013年
- 鈴木岩弓「東日本大震災後の『絆』再興にみる宗教の“ちから”」『宗教研究』86-4, 日本宗教学会, pp.22-26, 2013年
- 鈴木岩弓, 「いま宗教者に求められていることは何か」『寺門興隆』No.175, 興山社, pp.58-65, 2013年
- 鈴木岩弓「いまなぜ臨床宗教師の養成が必要なのか」『寺門興隆』No.176, 興山社, pp.108-116, 2013年
- 木村敏明「地震と神の啓示—西スマトラ地震をめぐる語りから」『東北宗教学』vol.5, 2010年
- 木村敏明「震災と向き合う宗教—東日本大震災以降の動向」、渡辺直樹編『宗教と現代がわかる本 2012』平凡社、pp. 26-35、2012年
- 木村敏明「日本人と震災と宗教」、座小田豊・尾崎彰宏編『今を生きる—東日本大震災から明日へ復興と再生への提言— 1. 人間として』東北大学出版会、pp. 123-134、2012年
- 木村敏明「震災死者と宗教—インドネシア・スマトラにおける集団埋葬の事例から」、国際宗教研究所編『現代宗教 2012』秋山書店、pp. 158-173、2012年

KIMURA Toshiaki, Social Change and Transformation in Toba Batak Ethnic Associations in Medan, Sumatra *Stratification in Cultural Context –Cases from East and Southeast Asia*, Trans Pacific Press, PP113-126, 2013

木村敏明「多民族国家の不平等—インドネシアにおける格差問題」『不平等生成メカニズムの解明—格差・階層・公正—』ミネルヴァ書房, pp. 35-52, 2013 年。

Yamada, Hitoshi, Tales on the Mole that Shot the Sun: A Comparative Perspective, In: Shinoda, Chiwaki (éd.), *Mythologie du ciel. Vent—Oiseaux—Etoiles*: 27–42, Nagoya: Librairie Rakuro, 2009

Yamada, Hitoshi, Astral Concepts and Folklore among the Austronesian Peoples of Taiwan, In: Shinoda, Chiwaki (éd.), *Mythes, Symboles, Langues*, II: 63–76, Nagoya: Librairie Rakuro, 2009

山田仁史「伊能嘉矩：『遠野物語』の先駆者」三浦秀一（編）『東北人の自画像』（人文社会科学講演シリーズ；4）：87-128、仙台：東北大学出版会、2010 年
山田仁史「盟神探湯の源流再考」『国史談話会雑誌』50: 265-287、仙台：東北大学国史談話会、2010 年

山田仁史「大洪水（Sintflut）と大火災（Sintbrand）の神話」篠田知和基（編）『火と水の神話：「水中の火」』：157-176、名古屋：楽瑯書院、2010 年

山田仁史「臺灣原住民有關星辰的觀念與神話」黃綠萍（譯）、陳器文（編）『新世紀神話研究之反思：第八屆通俗文學與雅正文學國際學術研討會論文集』（興大中文學報；第 27 期 刊）：469-490. 台中：國立中興大學中國文學系、2010 年

山田仁史「オランダ民族学・宗教学と台湾原住民研究」笠原政治（編）『馬淵東一と台湾原住民族研究』：171-199. 東京：風響社、2010 年

山田仁史「レヴィ＝ストロースと大林太良：神話学における構造と歴史」『比較日本文化研究』14（特集 構造主義と日本研究：レヴィ＝ストロース追悼）：38-55、2010 年

山田仁史「日月の争いと星々の神話」『説話・伝承学』19: 21-40、2011 年

山田仁史「台湾のシンデレラ？」篠田知和基（編）『愛の神話学』：459-480、名古屋：楽瑯書院、2011 年

山田仁史「台湾原住民における焼畑」『焼畑の環境学：いま焼畑とは』（地球研ライブラリー；17）：337-372. 京都：思文閣出版、2011 年

Yamada, Hitoshi, The Gourd in South Chinese and Southeast Asian Flood Myths. In: Shinoda Chiwaki (éd.), *Mythes, Symboles et Images*, I: 21–36, Chiba: Librairie Rakuro,

2011年

太田明／橋本和夫／山田仁史「神話のトピック構造分析による比較研究」『情報処理学会第74回全国大会講演論文集』:3R-4、2012年

山田仁史「環太平洋の日本神話：一三〇年の研究史」『古事記：環太平洋の日本神話』（アジア遊学；158）：6-24。東京：勉誠出版、2012年

山田仁史「台湾原住民における〈動物の主〉試論」『台湾原住民研究』16:53-68、2012年

山田仁史「幽界からの声：〈驢馬の耳〉譚再考」篠田知和基（編）『異界と常世』:145-160、千葉：楽瑯書院、2013年

山田仁史「日本と周囲諸地域のシャマニズムにおける弾弓」菊谷竜太／滝澤克彦（編）『身体的実践としてのシャマニズム』（東北アジア研究センター報告；8）:109-123、仙台：東北大学東北アジア研究センター、2013年

山田仁史「アジアをみる眼」片岡樹／シンジルト／山田仁史（編）『アジアの人類学』（シリーズ来たるべき人類学；4）:3-42、横浜：春風社、2013年

滝澤克彦「移行期モンゴルにおける宗教言説とヘゲモニー」『東北アジア研究』第13号、東北大学東北アジア研究センター、2009年3月

滝澤克彦「モンゴルの民主化とキリスト教」国際宗教研究所編『現代宗教2009』、秋山書店、2009年6月

滝澤克彦「宮城県のオシラ神」、『シンポジウム「東北のオシラ神を探る」研究発表資料集』、青森県民俗の会、2009年9月

滝澤克彦「村落空間論再考—「民俗」を可能にするもの」『東北民俗』第44輯、東北民俗の会、2010年7月

滝澤克彦「FIELD NOTE：異質なものととの出会い、言説の後ろにあるもの—モンゴルにおけるキリスト教のフィールド調査から—」『Arctic Circle』（北海道立北方民族博物館友の会・季刊誌）第76号（2010年秋号）、財団法人北方文化振興会、2010年9月

滝澤克彦「オシラ神の地域のおよび普遍的理解へ向けて—宮城県の事例から—」『第28回東北地方民俗学合同研究会 東北のオシラ神信仰』、青森県民俗の会、2010年11月

滝澤克彦（共編）『東日本大震災に伴う被災した民俗文化財調査2011年度報告集』、東北大学東北アジア研究センター、2012年6月

庄司一平「サンタヤーナの自然的宗教論」『論集』38号、印度学宗教学会、pp.19-35、2011年12月

1-2 著書・編著

鈴木岩弓共著『いま、この日本の家族一絆のゆくえー』、弘文堂、pp.221、2010年

木村敏明監修『聞き書き震災体験ー東北大学90人が語る3.11』新泉社、pp.325、2012年。

柳原敏昭（編）佐竹輝昭／佐藤健治／曾根原理／七海雅人／柳原敏昭／山田仁史（執筆）『東北中世史の開拓者 大島正隆資料集』（東北文化資料叢書；第6集 史学史・民俗学史資料）仙台：東北大学大学院文学研究科東北文化研究室、2012年

滝澤克彦（編著）『ノマド化する宗教、浮遊する共同性 ー現代東北アジアにおける「救い」の位相』、東北大学東北アジア研究センター、2011年2月

松村一男／平藤喜久子／山田仁史（編）『神の文化史事典』東京：白水社、2013年
片岡樹／シンジルト／山田仁史（編）『アジアの人類学』（シリーズ来たるベ

き

人類学；4）横浜：春風社、2013年

Kimura Toshiaki 編著, Stratification in Cultural Contexts, Trans Pacific Press, 2013年

木村敏明・佐藤嘉倫編著編『社会階層と不平等ー格差問題への多様なアプローチ』ミネルヴァ書房、平成25年（2013年）3月。

1-3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

鈴木岩弓（辞典項目）「おくない様」「おしら様」「おせんだく」『祭・芸能大辞典』、朝倉書店、2009年

鈴木岩弓（追悼文）「先生から刺激を受けたこと」『宮本袈裟雄追悼文集』宮本袈裟雄追悼文集刊行会、pp.84-5、2009年

鈴木岩弓（解説）「玉川寺」『庄内のモリ供養の習俗』山形県教育委員会、pp.19-22、2009年

鈴木岩弓（解説）「正常院」『庄内のモリ供養の習俗』山形県教育委員会、pp.36-40、2009年

鈴木岩弓・多賀幹子・呉善花（鼎談）「日本の親子はどう変わったのか」『コミュニティ』No.143, pp.10-61, (財)地域社会研究所、2009年

鈴木岩弓（報告書）「第1節根白石地区にみるだるま」『仙台旧城下町に所在す

- る民俗文化財調査報告書③ 仙台張子・鍛冶屋』（仙台市文化財調査報告書第 375 集）仙台市教育委員会、pp.59-62、2010 年
- 鈴木岩弓（報告書）『仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑤ 仙台の正月飾り』（仙台市文化財調査報告書第 375 集）仙台市教育委員会、pp.1-93、2010 年
- 鈴木岩弓（辞典項目）「墓」『宗教学事典』丸善、pp.490-493、2010 年
- 鈴木岩弓・内館牧子（対談）「相撲とイタコと大学院」『現代宗教 2011』、pp.1～16、国際宗教研究所、2011 年
- 鈴木岩弓（基調講演）「墓からみる民族・国家・宗教の力学」『ノマド化する宗教浮遊する共同性—現代東北アジアにおける『救い』の位相—』、東北大学東北アジア研究センター、pp.9-37、2011 年
- 鈴木岩弓（要旨）「柳田國男と仙台」『柳田國男と東北大学』東北大学大学院文学研究科、pp.3-9、2011 年
- 鈴木岩弓（教育講演要旨）「死生学とは—現代日本における『死』の扱いの変化—」『死の臨床』57 日本死の臨床研究会、pp.20-21、2011 年
- 鈴木岩弓（月報）「大学院時代の太城公男さん」『がじゅまる通信』No.68、榕樹書林、2011 年
- 鈴木岩弓 2011.12（座談会）「大災害に見る家族、地域、人とのつながり」（戸松義晴・原礼子・渡辺秀樹と）『三田評論』No.1151、pp.10-27、慶應義塾、2011 年
- 鈴木岩弓（寄稿）「展望 超宗派『心の相談室』」『週刊佛教タイムス』第 2471 号、1 面、2012 年
- 鈴木岩弓（巻頭言）「桜の季節」『すいとく』第 693 号、竹駒神社、p.1、2012 年
- 鈴木岩弓（フォーラム）「いま、震災被災地で民俗学者ができること」『日本民俗学』270 日本民俗学会、pp.232-237、2012 年
- 鈴木岩弓（要旨）「現代社会の死の文化—『中央公論』をてがかりに—」『歴博国際シンポジウム 現代における死の文化の変容—東アジア地域の葬送墓制を中心に—』国立歴史民俗博物館、pp.3-14、2012 年
- 鈴木岩弓（巻頭言）「神社の社会統合機能」『すいとく』第 697 号、竹駒神社、p.1、2012 年
- 鈴木岩弓（要旨）「従墳墓看現代」『「台日殯葬文化」国際学術研究会／「2013 台湾與日本生命文化事業国際学術論壇／台日「宗教與生死学」学術交流座談会 連合論文集』中華生死学会・仁徳医専生命關懷事業科・輔仁大学宗教学系、

pp.139-144、2013年

鈴木岩弓（講演録）「霊と肉と骨—現代日本人の死者観念—」（第56回智山教学大会講演）『智山学報』第62輯，大正大学真言学智山研究会，pp.1-49，2013年

鈴木岩弓（巻頭言）「『宗教』と『信仰』」『すいとく』第705号，竹駒神社，p.1，2013年

鈴木岩弓「東北大学の『臨床宗教師』養成構想」『全仏』No.590，全日本仏教会，p.2，2013年

鈴木岩弓（巻頭言）「盆に来る霊」『すいとく』第709号，竹駒神社，p.1

木村敏明「宣教師伝の成立と現地社会」『宗教研究』359号，2009年

木村敏明「祈りにおける「かたどり」と「ちから」—レーウの宗教論から」『宗教研究』363号，2010年

木村敏明「シンクレティズム」、『宗教学事典』（島菌進 編、丸善）、2010年

木村敏明「東松島市浜市地区 2012年1月13日」「東松島市浜市地区 2012年2月7日」、高倉浩樹・滝澤克彦・政岡伸洋編『東日本大震災に伴う被災した民俗文化調査2011年度報告集』、東北アジア研究センター、2012年

木村敏明「キリスト教」「教会」「プロテスタンティズム」「カトリック」「解放の神学」「俗信」、『現代社会学事典』（大澤真幸、吉見俊哉、鷲田清一 編、弘文堂）、2012年

木村敏明「シンガマンガラジャ」「デウィ・スリ」「アンタボガ」「イラ・イライ・ランギト」「ディディス・マヘンデラ」「バタラ・グル」「パロン」「ムラジャディ」「ランダ」「ロロ・キドウル」『事典世界の神々』白水社、印刷中

木村敏明「ムラジャディ」「シンガマガラジャ」「バタラ・グル」「ジョコ・タルプ」「ダマルウラン」「ロロ・キドウル」「サン・クリアン」「サンギャン・スリ」「インドネシアの神話」「ルトウン・カサルン」「パンジ」「ガルータ」「ダーラニー」「デワタ」「アプサラス」「キンナリ」「ナーガ」『世界神話伝説事典』（勉誠社）、印刷中

木村敏明「ポスト災害社会における宗教」『宗教研究』375号，PP.393-394

2013年

山田仁史「伝播主義：古典を学ぶ（2）」日本文化人類学会（編）『文化人類学事典』：730-733，丸善，2009年

メンヒェン＝ヘルフェン、オットー「太陽を射る話（上）」山田仁史（訳・註）、

- 『比較民俗学会報』 29(3): 9-20, 2009 年
メンヒェン=ヘルフェン、オットー「太陽を射る話（下）」山田仁史（訳・註）、
『比較民俗学会報』 29(4): 1-8, 2009 年
山田仁史（書評：ロバート・アッカーマン著『評伝 J・G・フレイザー その
生涯と業績』）「古典的名著誕生の舞台裏—さまざまな発見に導く：フレイ
ザーのイメージを一新する労作」『週刊読書人』2778 号（2009 年 3 月 6 日号）：
3, 2009 年
山田仁史「Eduard Stucken（1865-1936）の神話研究」『宗教研究』82(4): 1331-1332,
2009 年
山田仁史「本当に祈っているのか」（私の視点：国宝・合掌土偶；3）、『デー
リー東北』2009 年 5 月 14 日: 11, 2009 年
山田仁史「環太平洋に開かれた窓」（私の視点：国宝・合掌土偶；3）、『デー
リー東北』2009 年 5 月 21 日: 11, 2009 年
山田仁史「台湾の焼畑」『アジア・日本研究センター紀要』5: 171-174, 町田：国
士舘大学アジア・日本研究センター, 2010 年
山田仁史「狩猟民の神話と世界観：〈動物の主〉再考」『宗教研究』83(4) [363] :
1549-1550, 2010 年
山田仁史「水をめぐる神話学：活かす水と滅ぼす水」『人と水：連携研究「人と
水」研究連絡誌』8: 2-5, 京都：昭和堂, 2010 年
山田仁史「神意問う裁判の史跡たどる：書評 清水克行著『日本神判史 盟神探
湯・湯起請・鉄火起請』中公新書」『東京新聞』2010 年 7 月 11 日
山田仁史「神話」星野英紀／池上良正／氣多雅子／島藺進／鶴岡賀雄（編）『宗
教学事典』: 206-207、東京：丸善、2010 年
佐竹輝昭／佐藤健治／曾根原理／七海雅人／柳原敏昭／山田仁史「東北大学史料
館所蔵「大島正隆文書」目録」『国史談話会雑誌』51: 1-69、2010 年
山田仁史「ナイアガラの滝の起源伝説」篠田知和基（編）『神話・象徴・言語』III:
141-146、名古屋：楽瑯書院、2010 年
山田仁史「狗肉の食とそのタブー」『食文化誌 ヴェスタ』84: 54-57, 85: 46-49, 86:
44-47、2011-12 年
山田仁史「日本における民族学的神話研究」『宗教研究』84(4) [367] : 968-969、
2011 年
山田仁史「日本における民族学的神話研究」『宗教研究』84(4) [367] :
968-969、2011 年

- 山田仁史「大林太良与日本神話学」王立雪（訳）、『長江大学学报（社会科学版）』
34(9): 5, 18、2011年
- 山田仁史「新刊紹介 石垣直著『現代台湾を生きる原住民：ブヌンの土地と権利
回復運動の人類学』」『台湾原住民研究』15: 203-205、2011年
- 山田仁史「シベリアの洪水伝説：災害体験の継承方法としての神話」藤原潤子／
檜山哲哉（編）『平成23年度FR3研究プロジェクト報告 温暖化するシベリ
アの自然と人：水環境をはじめとする陸域生態系変化への社会の適応』（地
球研プロジェクト C-07）：165-182、京都：総合地球環境学研究所、2012年
- 山田仁史「シャマニズムをめぐる神話と世界観」高倉浩樹（編）『極寒のシベリ
アに生きる：トナカイと氷と先住民』：219-237, xi-xii、東京：新泉社2012年
- ベリョースキン、ユーリ「環太平洋における日本神話モチーフの分布」山田仁史
（訳）、『古事記：環太平洋の日本神話』（アジア遊学；158）：25-41. 東京：勉
誠出版、2012年
- 山田仁史『台湾原住民族の音楽と文化』国際学術シンポジウム：天理にて開催の
報告『台湾原住民研究』16: 139-141、2012年
- 山田仁史「書評 渡邊昌史著『身体に託された記憶：台湾原住民の土俵をもつ相撲』
『台湾原住民研究』16: 174-179、2012年
- 山田仁史「神話」（716-717）、「神話学」（717）、「他界」（845）、「天」（917）、「農耕
儀礼」（1009）、見田宗介（顧問）大澤真幸／吉見俊哉／鷲田清一（編）『現代
社会学事典』東京：弘文堂、2012年
- 山田仁史「文献紹介 『なぜ生命は捧げられるか：日本の動物供犠』原田信男著
『食文化誌 ヴェスタ』89: 70-71、2013年
- 山田仁史「書評 李福清『中國各民族神話研究外文論著目録（1839～1990）』
『東北アジア研究』17: 159-163、2013年
- 山田仁史「（シンポジウム報告要旨）台湾原住民と日本：『旧慣』の近代化とその影
響」『21世紀アジア学研究』11: 156、2013年
- 山田仁史「北方の水・雪・氷のフォークロア」藤原潤子／檜山哲哉（編）『平成24
年度FR4研究プロジェクト報告 温暖化するシベリアの自然と人：水環境を
はじめとする陸域生態系変化への社会の適応』（地球研プロジェクト C-07）：
160-167、京都：総合地球環境学研究所、2013年
- 山田仁史「神話と私たち」全6回（科学の泉）、『河北新報』2013年6月11-16日
付、2013年
- 滝澤克彦「12月例会報告」『けせら』30号、東北民俗の会、3頁、2009年

- 滝澤克彦「現代モンゴルの福音派教会における祈りのかたち」『宗教研究』82(4)、pp.460-461、2009年
- 滝澤克彦「シンポジウム報告 ノマド化する宗教、浮遊する共同性— 現代東北アジアにおける「救い」の位相」『東北アジアニューズレター』第40号、東北大学東北アジア研究センター、pp.4-5、2009年
- 滝澤克彦「宮城県のオシラ神」『シンポジウム「東北のオシラ神を探る」研究発表資料集』、青森県民俗の会、pp.45-55、2009年
- 滝澤克彦「報告：平成21年度公開講演会」『けせら』32号、東北民俗の会、p.2、2009年
- 滝澤克彦「FIELD NOTE：異質なものとのお会い、言説の後ろにあるもの—モンゴルにおけるキリスト教のフィールド調査から—」『Arctic Circle』第76号、財団法人北方文化振興会、pp.14-17、2010年
- 滝澤克彦「宗教進化論」星野英紀／池上良正／氣多雅子／島菌進／鶴岡賀雄編『宗教学事典』、丸善、2010年10月
- 庄司一平「G・サンタヤーナにおける自然主義と宗教」『宗教研究』83(4)、pp. 221-222、2010年
- 庄司一平「米国における「宗教の倫理化」」『宗教研究』84(4)、pp. 296-297、2011年
- 庄司一平「12月例会報告」『けせら』40号、東北民俗の会、pp. 2-3、2013年
- 庄司一平「サンタヤーナと自然的宗教」『宗教研究』86(4)、2013年

1-4 口頭発表

- 鈴木岩弓「死をめぐる世相史」タナトロジー研究会、2009年5月22日
- SUZUKI Iwayumi, Individuality through the Display of Personal Photos of the Dead, DDD9 (The Ninth International Conference, The Social Context of Death, Dying and Disposal) Durham University, September 11、2009年9月11日
- 鈴木岩弓「シンポジウム東北のオシラ神を探る」共同討議コーディネーター、2009年9月19日
- 鈴木岩弓「民俗の仏教化—寺院行事化する「もり供養」—」日本民俗学会第61回年会、2009年10月4日
- 鈴木岩弓「日本人的信仰観」、中国：東南大学外国語学院学術講座、2010年3月2日
- 鈴木岩弓「日本人的宗教信仰」、中国：東南大学外国語学院学術講座、2010年3月2日

鈴木岩弓「霊場恐山にみる他界の構造」日本宗教民俗学会創立 20 周年記念シンポジウム、2010 年 6 月 12 日

鈴木岩弓「生老病死にみる民俗の変化」日本民俗学会第 62 回年会公開シンポジウム：コーディネーター、2010 年 10 月 2 日

鈴木岩弓「死生学について」第 34 回日本死の臨床研究会：教育講演、2010 年 11 月 6 日

鈴木岩弓「東北地方の骨葬習俗」国立歴史民俗博物館「高度経済成長期とその前後における葬送墓制の習俗の変化に関する研究」第 2 回共同研究会、2010 年 11 月 13 日

鈴木岩弓「宮城県の宗教者による支援と『心の相談室』」宗教者災害支援連絡会：第 2 回情報交換会、講師、2011 年 05 月 22 日

鈴木岩弓「『心の相談室』のこころみー震災に対する超宗派的取り組みー」日蓮宗宗務院研修会、講師、2011 年 06 月 10 日

鈴木岩弓「墓からみる民族・国家・宗教の力学」『ノマド化する宗教浮遊する共同性ー現代東北アジアにおける『救い』の位相ー』：基調講演、東北大学東北アジア研究センター、pp.9-37、2011 年

鈴木岩弓「与半跏趺坐地藏像有关的民間信仰」、民俗艺术学国际学术研讨会、2011 年 9 月 10 日

鈴木岩弓「山と神と日本人」中国：東南大学外国語学院学術講演会、2011.09.12

鈴木岩弓「東日本大震災にみる土葬の復活ー“あり得べき”死者の姿ー」、東京大学 GCOE：エジプト・日本学術シンポジウム死者の追悼と文明の岐路 2011 年、2011 年 9 月 23 日

鈴木岩弓「命のウツワ」プロジェクト シンポジウム、2011 年 10 月 10 日

鈴木岩弓「東日本大震災にみる吊いの諸相」曹洞宗総合研究センター第 13 回学術大会、2011 年 10 月 24 日

鈴木岩弓「心の相談室と東北の宗教文化」京都大学第 2 回東日本大震災関連プロジェクト研究会、2012 年 1 月 24 日

鈴木岩弓「東日本大震災における土葬の選択ー現代日本人の死者観ー」国際シンポジウム「大震災と価値の創生」、2012 年 3 月 10 日

鈴木岩弓「地域コミュニティの再構築」（世界宗教者平和会議「復興に向けた宗教者円卓会議ー今後の WCRP による取り組みのあり方を考えるー）、2012 年 05 月 22 日

鈴木岩弓「霊と肉と骨ー現代日本人の死者観念ー」、智山教学会第 56 回大会、2012

年 05 月 18 日

鈴木岩弓「震災以後の宗教者のちから—「心の相談室」から生まれた「実践宗教学寄附講座」—」宗教倫理学研究会 2012 年度研究プロジェクト「3.11 以降の社会と宗教」、2012 年 06 月 15 日

SUZUKI Iwayumi, Perception of the Dead in Contemporary Japan : Observation through the Great East-Japan Earthquake, DDU (Death Down Under 2012), 2012 年 06 月 29 日

鈴木岩弓「現代社会の死の文化」（歴博国際シンポジウム「現代における死の文化の変容—東アジアの葬送墓制を中心に—」冒頭報告）2012 年 07 月 07 日

鈴木岩弓「第 3 回東日本大震災関連プロジェクト～心の再生に向けて」（コメントータ）2012 年 07 月 11 日

鈴木岩弓「東日本大震災後の『絆』再興にみる宗教の“ちから”」日本宗教学会第 71 回学術大会公開シンポジウム「ためされる宗教の公益」、2012 年 9 月 7 日

鈴木岩弓「震災からの復興にみる宗教の“ちから”」現代における宗教の役割研究会第 59 回コルモス研究会議：講師，2012 年 12 月 26 日

鈴木岩弓 パネルディスカッション「東日本大震災と宗教者・宗教学者」：総合司会、2013 年 03 月 02 日

鈴木岩弓 公開シンポジウム「死者と向きあう」印度学宗教学会第 55 回学術大会：コメントータ、2013 年 06 月 01 日

鈴木岩弓「震災後の幽霊の語りと民俗」京都大学第 4 回東日本大震災関連プロジェクト：講演、2013 年 07 月 09 日

鈴木岩弓「宗教と公共性」国際日本文化研究センターシンポジウム「宗教と公共性—神道と宗教復興から—」：口頭発表，2013 年 07 月 21 日

木村敏明 「トバ・バタック移民社会における慣習法的実践の再編とキリスト教」
「宗教と社会」学会、創価大、2009 年

Kimura Toshiaki, “Functional Changes of Ethnic Associations among Toba Batak Immigrants in Medan, Sumatra”, Society for East Asian Anthropology, Academia Sinica; Taiwan, 2009

Kimura Toshiaki, “Social Change and Transformation of Toba Batak’s Ethnic Associations in Medan, Sumatra”, International Convention of Asia Scholars 6, Daejeon Convention Center; Korea, 2009

木村敏明「祈りににおける「かたどり」と「ちから」—レーウの宗教論から」日本

- 宗教学会第 68 回学術大会、京都大学、2009 年
- Kimura Toshiaki, “Religion and Social Agricultural Change in Tropical Asia”, NAFRI Seminar, National Agricultural and Forestry Research Institute: Lao PDR, 2009
- 木村敏明「宗教文化教育に求められるもの—大学教員の立場から」シンポジウム「宗教文化教育に求められるもの」、國學院大學、2010 年
- 木村敏明「宗教学からみた「幸福」—トバ・バタック社会の事例より」第 3 回「人間と地球と緑」研究会、総合地球環境学研究所、2010 年
- 木村敏明「国家・文化・宗教—アブドゥルラフマン・ワヒドの寛容思想」印度学宗教学会課題研究「宗教と寛容」、大阪国際大学、2010 年
- 木村敏明「集団合宿調査の理念と現実—東北大学宗教学実習の試み」第 2 回宗教文化の授業研究会、國學院大學、2010 年
- 木村敏明「人間と地球と緑のあり方—文化的関わり」中日学者草原生態問題学術座談会、内蒙古社会科学院：中国、2010 年
- 木村敏明「宗教文化教育の意義と位置を模索して」「宗教学教育の現状と課題」研究会、大正大学、2010 年
- 木村敏明「天災・神災・人災—西スマトラ地震をめぐる語りの分析から」日本宗教学会、東洋大学、2010 年
- Kimura Toshiaki, “Pesta Perkawinan di dalam Masyarakat Jepang” 日本文化セミナー、北スマトラ大学：インドネシア、2010 年
- 木村敏明「公共を模索する宗教—東日本大震災後の動向から」公共哲学京都フォーラム、神戸ポートホテル、2011 年
- 木村敏明「祈りの力と無力」メレンダセミナー（東北大学）2011 年
- 木村敏明「震災体験の共有、記録へ向けて—東北大学震災体験記録プロジェクトの試み」、みちのく図書館職員連合、岩沼市民図書館、2011 年
- 木村敏明「集団埋葬と宗教—インドネシア・スマトラの事例—」、エッジの社会学—ソーシャルワイズの探求研究会、関西学院大学、2011 年
- Kimura Toshiaki “Learning Local Wisdom from Indonesian Society”, FESTINA Indonesian Culture Day for Tohoku, (仙台) 2012 年
- 木村敏明「西スマトラ震災後の集団埋葬をめぐる葛藤—住民・宗教者・地域政府」印度学宗教学会（東北福祉大学）2012 年
- 木村敏明「東松島市浜市地区の事例」みやしんぶん 7 月例会、東北大学、2012 年
- 木村敏明「ポスト震災社会における宗教—スマトラの事例から」日本宗教学会、皇學館大學、2012 年

- Kimura Toshiaki, Religious practice and social resilience after Great East Japan Earthquake and Tsunami, 2012.9.29., CSSI-IOS Symposium on Social Changes under Globalization(Tohoku University)
- Kimura Toshiaki, Mass graves after mega quake, 2012.11.23., International Symposium Salvage & Salvation –Disaster, Religion and Rehabilitation(National University of Singapore)
- Kimura Toshiaki, Reconfiguring the religious role in post-disaster society –the social impact of mass graves in Japan and Indonesia. 2012.11.27., The Australia Sociological Association, (The University of Queensland: Australia)
- 木村敏明「民俗芸能と祭礼からみた地域復興—宗教学の立場から」2013.2.23, シンポジウム：民俗芸能と祭礼からみた地域復興—東日本大震災にともなう被災した無形の民俗文化財調査から（東北大学片平さくらホール）
- 木村敏明「「一神教」になった仏教—インドネシアにおけるパンチャシラ体制と仏教復興」2013.5.9., アジアの仏教と文化（龍谷大学）
- 木村敏明「宗教者の見た「呪術」とインドネシア社会」2013.6.8., 宗教史研究会（東洋英和女学院大学）
- Kimura Toshiaki, To continue or Not? –Dispersed community and ritual revival after East Japan Great Earthquake and Tsunami, 2013.8.6. International Union of Anthropological and Ethnological Sciences, (University of Manchester: Great Britain) 2013 年
- 山田仁史「台湾原住民のイメージと首狩文化：虚像と実像」グローバルCOE「社会階層と不平等教育研究拠点の世界的展開」ワークショップ, 仙台：東北大学, 2009 年
- 山田仁史「神話における太陽・月・星の関係」環太平洋神話研究会・南山大学記念大会, 名古屋：南山大学, 2009 年
- 山田仁史「オランダ民族学・宗教学と台湾原住民研究」順益台湾原住民研究会, 東京：日本大学, 2009 年
- 山田仁史「狩猟民の神話と世界観：〈動物の主〉再考」日本宗教学会第 68 回学術大会, 京都：京都大学, 2009 年
- 山田仁史「台湾の焼畑」国士舘大学アジア・日本研究センター／総合地球環境学研究所・里プロジェクト共催シンポジウム「アジアの焼畑から何が見えるか」、東京：国士舘大学梅ヶ丘新校舎、2009 年
- 山田仁史「台湾原住民有關星辰的觀念與神話」2009「新世紀神話研究之反思」國際學術研討會、台中：中興大學、2009 年

Yamada, Hitoshi, "Doing Taiwan Yuanzhumin (YZM) Studies as an Outsider: A Cultural-Historical Perspective," International Symposium on Taiwan Studies: Past, Present, and Future, Sendai: Tohoku University, 2009

山田仁史「大洪水（Sintflut）と大火災（Sintbrand）の神話」 2010年比較神話学シンポジウム I 「水の中の火」, 名古屋：南山大学, 2010年

山田仁史「シャマニズムにおける弓の使用について」 第3回東北シャマニズム研究会、仙台：東北大学、2010年

山田仁史「コメント：シャマニズムをどうとらえるか」東北シャマニズム研究会シンポジウム「シャマン的世界のリアリティをどうとらえるか」、仙台：東北大学、2010年

山田仁史「日月の争いと星々の神話」説話・伝承学会 2010年度春季大会公開シンポジウム「宇宙の神話-太陽・月・星-」、京都：花園大学、2010年

山田仁史「台湾原住民における焼畑」プロジェクト「農業が環境を破壊するとき：ユーラシア農耕史と環境」全体会議、京都：総合地球環境学研究所、2010年

山田仁史「天体神話の諸問題」第53回印度学宗教学会学術大会、守口：大阪国際大学守口キャンパス、2010年

山田仁史「18世紀から19世紀にかけての比較神話研究」日本シェリング協会第19回大会、横浜：神奈川大学、2010年

Yamada, Hitoshi, "Japanese Mythology from Ethnological Perspectives," XXth World Congress of the International Association for the History of Religions, Toronto: University of Toronto, 2010

Yamada, Hitoshi, On the Origin of Ordeals in Japan, Le crime et le châtiment dans la mythologie, Osaka: Osaka University, 2011

山田仁史「台湾のシンデレラ？」比較神話学シンポジウム：のろわれた愛、名古屋：名古屋市政資料館、2011年

山田仁史「日本と周囲諸地域のシャマニズムにおける弾弓」東北シャマニズム研究会国際シンポジウム「身体的実践としてのシャマニズム」仙台：東北大学、2011年

山田仁史「シベリアの洪水伝説：災害体験の継承方法としての神話」地球研シベリアプロジェクト全体会議、京都：総合地球環境学研究所、2011年

山田仁史「泣く文化についての若干のコメント」東北大学東北アジア研究センター「シベリアにおける人類生態と社会技術の相互作用研究ユニット」特別講

演会、仙台：東北大学、2011年

山田仁史「殺人は罪か？：首狩と人身供犠のあいだ」GRMC2012 比較神話学シンポジウム「罪と罰の神話：犠牲と贖罪の儀礼」千葉：千葉大学、2012年

山田仁史「夢占（ゆめうら）と鳥占（とりうら）：台湾原住民族と東南アジアを中心に」宗教史学研究所第55回研究会、東京：東洋英和女学院大学大学院、2012年

Yamada, Hitoshi, Brother pairs and twin brothers in Japanese and Circumpacific legends and tales: Possible reflection of the hunting-fishing worldview, Sixth Annual International Conference on Comparative Mythology, St. Petersburg: European University, 2012

山田仁史「北方の水・雪・氷のフォークロア」地球研シベリアプロジェクト全体報告会、名古屋：名古屋大学、2012年

山田仁史「幽界からの声：〈驢馬の耳〉譚再考」GRMC：2012年冬・比較神話学シンポジウム「幽世（かくりよ）の明暗」千葉：千葉県文化会館別館聖賢堂、2012年

山田仁史「台湾原住民と日本：「旧慣」の近代化とその影響」21世紀アジア学会主催シンポジウム：“アジアの覚醒”と日本：アジア学理解のために、東京都町田市：国士舘大学町田キャンパス、2013年

山田仁史「及川真学の台湾原住民研究」台湾原住民研究会、東京：日本大学経済学
部、2013年

滝澤克彦「モンゴルにおけるキリスト教の越境と「救い」の共同性」東北大学東北アジア研究センターシンポジウム「ノマド化する宗教、浮遊する共同性—現代東北アジアにおける「救い」の位相」、東北大学、2009年2月28日

滝澤克彦「現代モンゴルにおける民族、宗教、救い」日本モンゴル学会2009年度春季大会、東北大学、2009年5月16日

滝澤克彦 Comments and Questions (Chair and Discussant of the Organized panel “New Social Structures and Changing Social Status in Indonesia”), International Convention of Asia Scholars 6、大田（韓国）：Daejeon Convention Center、2009年8月8日

滝澤克彦「進化における宗教の問題」日本宗教学会第68回学術大会、京都大学、2009年9月13日

滝澤克彦「宮城県のオシラ神」シンポジウム「東北のオシラ神を探る」、青森市

男女共同参画プラザ・カダール、2009年9月22日

滝澤克彦「シャマニズムの地域性・歴史性・普遍性—東北のオカミサマを手がかりとして—」第1回東北シャマニズム研究会、東北大学、2009年10月29日

滝澤克彦 *Memories of Socialism and Religion in Mongolia: The Persistence and Transformation of Household Rituals* (Organized Panel, “Memories of Religion as National Heritage in Connection with the Atheism”), *East Asian Conference for Slavic Eurasian Studies 2010*, ソウル: ソウル教育文化会館、2010年3月5日

滝澤克彦「オシラ神の地域的および普遍的理解へ向けて—宮城県の事例から—」平成22年度東北地方民俗学合同研究会「東北のオシラ神信仰」、浅虫温泉南部屋(青森)、2010年11月20日

滝澤克彦、総合討論司会、東北シャマニズム研究会シンポジウム「シャマン的世界のリアリティをどうとらえるか」、東北大学、2010年

滝澤克彦「宗教における社会主義という経験をどうとらえるか—モンゴル国の事例から」平成22年度東北アジア研究センター「東北アジア地域」に関する共同研究公開シンポジウム「東北アジア地域における宗教の新たな展開—中国とその近隣—」、東北大学、2011年2月27日

滝澤克彦 *Crossing borders: Communality of 'Salvation' in Mongolian Christianity, MIASU (Mongolia and Inner Asian Study Unit, Cambridge University) Discussion Group, Cambridge: MIASU, University of Cambridge*, 2011年3月8日

滝澤克彦「現前と不在のあいだ—東日本大震災の宗教学的的試論—」「宗教と社会」学会第20回学術大会、長崎国際大学、2012年6月17日

庄司一平「G・サンタヤーナの宗教論」第52回印度学宗教学会、金沢大学、2009年5月31日

庄司一平「G・サンタヤーナにおける自然主義と宗教」日本宗教学会第68回学術大会、京都大学、2009年9月13日

庄司一平「米国における宗教的自由と寛容・非寛容」第53回印度学宗教学会課題研究「寛容と非寛容」、大阪国際大学、2010年5月29日

庄司一平「米国における「宗教の倫理化」」日本宗教学会第69回学術大会、東洋大学、2010年9月4日

庄司一平「サンタヤーナと自然的宗教」日本宗教学会第71回学術大会、皇學館大学、2012年9月8日

2 教員の受賞歴(2009~2013年度)

なし

IV 教員による競争的資金獲得（2009～2013年度）

（1）科学研究費補助金

2009年度

科学研究費補助金 基盤研究（B）鈴木岩弓（研究代表者）「わが国葬送墓制の現代的变化に関する実証的研究 ―〈個〉と〈群〉の相克―」

科学研究費補助金 研究成果公開促進費（データベース）鈴木岩弓（研究代表者）「東北研究データベース」

科学研究費補助金 若手研究（B）山田仁史（研究代表者）「神話にみられるヒトと自然の相互関係-東アジア基層文化の宗教民族学的研究-」

科学研究費補助金 若手研究（B）滝澤克彦（研究代表者）「モンゴルにおける宣教と聖書翻訳の宗教社会学的研究」、1,600千円

2010年度

科学研究費補助金 基盤研究（B）鈴木岩弓（研究代表者）「わが国葬送墓制の現代的变化に関する実証的研究 ―〈個〉と〈群〉の相克―」

科学研究費補助金 基盤研究（C）鈴木岩弓（研究分担者）「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究（C）木村敏明（研究代表者）「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 若手研究（B）山田仁史（研究代表者）「神話にみられるヒトと自然の相互関係-東アジア基層文化の宗教民族学的研究-」

科学研究費補助金 基盤研究（A）山田仁史（研究分担者）「東アジアにおける家畜の伝播とその展開に関する動物考古学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究（C）山田仁史（研究分担者）「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究（A）山田仁史（連携研究者）「世界神話二元構造の研究」

科学研究費補助金 若手研究（B）滝澤克彦（研究代表者）「モンゴルにおける宣教と聖書翻訳の宗教社会学的研究」、1,400千円

2011年度

科学研究費補助金 基盤研究（B）鈴木岩弓（研究代表者）「わが国葬送墓制の現代的变化に関する実証的研究 ―〈個〉と〈群〉の相克―」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (連携研究者) 「宗教文化教育の教材に関する総合研究」 (研究代表者・井上順孝)

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 鈴木岩弓 (研究分担者) 「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 木村敏明 (研究代表者) 「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 木村敏明 (研究分担者) 「宗教文化教育の教材に関する総合的研究」

2012 年度

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究代表者) 「わが国葬送墓制の現代的变化に関する実証的研究 ―〈個〉と〈群〉の相克―」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (連携研究者) 「宗教文化教育の教材に関する総合研究」 (研究代表者・井上順孝)

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 鈴木岩弓 (研究分担者) 「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (C) 木村敏明 (研究代表者) 「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 木村敏明 (研究分担者) 「宗教文化教育の教材に関する総合的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (研究分担者) 「東アジアにおける家畜の伝播とその展開に関する動物考古学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (連携研究者) 「世界神話二元構造の研究」

2013 年度

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究代表者) 「わが国葬送墓制の現代的变化に関する実証的研究 ―〈個〉と〈群〉の相克―」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (研究分担者) 「喪失と悲嘆に対する宗教的ケアの有用性とその専門職育成についての研究」 (研究代表者・谷山洋三)

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 鈴木岩弓 (連携研究者) 「宗教文化教育の教材に関する総合研究」 (研究代表者・井上順孝)

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 鈴木岩弓 (研究分担者) 「東北被災地における心霊体験の語りと宗教者による対応に関する宗教学的的研究」 (研

究代表者・高橋原)

科学研究費補助金 基盤研究(B) 木村敏明 (研究代表者) 「ポスト震災社会における宗教的多様性に関する国際比較研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (B) 木村敏明 (研究分担者) 「宗教文化教育の教材に関する総合的研究」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 木村敏明 (研究分担者) 「東日本大震災後の民俗文化に関わる災害民族誌研究の国際的ネットワーク構築」

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 木村敏明 (研究分担者) 「東北被災地域における心霊体験の語りと宗教者による対応に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (研究分担者) 「東アジアにおける家畜の伝播とその展開に関する動物考古学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 山田仁史 (連携研究者) 「世界神話二元構造の研究」

(2) その他

2009 年度

研究科長裁量経費「死を見つめる心—現代東北の葬送習俗—」鈴木岩弓 (代表)

大畠記念宗教史学研究助成基金「クラウド・ホック著『宗教学入門』の翻訳・出版」山田仁史 (代表)

大畠記念宗教史学研究助成基金「社会主義以前のモンゴルにおけるキリスト教伝道の「不成功」をめぐる宗教史的研究」滝澤克彦 (代表)

研究科長裁量経費「シャマニズムをめぐる学際的研究—国際シンポジウム開催とプロシーディングの発行—」滝澤克彦 (研究分担者)

2010 年度

国立歴史民俗博物館「高度経済成長期とその前後における葬送墓制の習俗の変化に関する研究」鈴木岩弓 (共同研究員)

研究科長裁量経費「シャマニズム研究における学際的視座の確立—シンポジウムおよび研究会の開催と研究成果の刊行—」滝澤克彦 (代表)

2011 年度

研究科長裁量経費「柳田國男と東北大学」鈴木岩弓 (代表)

国立歴史民俗博物館「高度経済成長期とその前後における葬送墓制の習俗の変化に関する研究」鈴木岩弓 (共同研究員)

2012 年度

東北開発記念財団海外派遣援助金、滝澤克彦「米国に居住するモンゴル人によるキリスト教会の活動の参与観察調査」17 万円、2012 年度

国立歴史民俗博物館「高度経済成長期とその前後における葬送墓制の習俗の変化に関する研究」鈴木岩弓（共同研究員）

日本・アジア学講座「シャマニズムと〈動物の主〉のフォークロア：シベリア・アイヌ・日本」山田仁史、ノヴォシビルスク：ノヴォシビルスク大学人文学部東洋学科、2012 年 11 月 14 日

2013 年度

総長裁量経費「『臨床宗教師』養成プログラムの開発と社会実装」

V 教員による社会貢献（2009～2013 年度）

【鈴木岩弓】

<委員>

- ・青森県史編さん調査研究員（2009 年度～現在）
- ・仙台市市民文化事業団理事（2009～2011 年度）
- ・相馬市史編さん委員（2009 年度～現在）
- ・岩沼市史編集専門部会（民俗学）調査執筆員（2009 年度～現在）
- ・宗教文化教育推進センター運営委員（2010 年度～現在）
- ・宗教文化教育推進センター監査（2010 年度～現在）
- ・人間文化研究機構国立歴史民俗博物館運営会議共同研究委員会委員（2009 年度～現在）
- ・人間文化研究機構国立歴史民俗博物館運営委員（2012 年度～現在）
- ・人間文化研究機構国立歴史民俗博物館共同研究委員（2010～2012 年度）

<公開講座等の講師>

2009 年 2 月 22 日「生者と死者の新たな関係」平成 20 年度市史編さん事業講演会（南相馬市）講師

2009 年 4 月 19 日「墓からみた東アジアの死生観」みやぎ霊園ふれあいゼミナール第 8 回講演会講師

2009 年 8 月 8 日「山寺と死者供養」山形県立博物館 講演会講師

2009 年 11 月 14 日「葬儀社アンケートから見た東北地方の葬送文化」東北文化公開講演会 シンポジウム「死を見つめる心—現代東北の葬送文化—」，パネリスト

- 2010年6月19日「宗教から人間を科学する—参詣者の行動から見た恐山信仰—」, 第9期有備館講座 講師
- 2010年7月17日 「モノを通じて見た現代人の死生観」, 仙台ターミナルケアを考える会教育セミナー講師
- 2010年7月18日 「神仏分離期以後の飯豊山信仰—登拝習俗の盛衰をめぐって—」ふるさとの山飯豊山を学ぶ講習会 講師
- 2010年9月11日 「祭りの機能論—宗教民俗学的考察—」歴史シンポジウム「祈りとくらし—仙台の民間信仰—」, 仙台市歴史民俗資料館, 講師
- 2010年10月09日 「生者と死者が出会う場所—霊地からみた東北の精神世界—」(2010年東北みらいプロジェクト・仙台セミナー: 講演・伊集院静、平川新とパネルディスカッション)
- 2010年10月22日 「郷土の信仰」、仙台豊齢学園、講師
- 2011年07月02日 「現代日本人の死生観—モノを通じて観念を知る—」盛岡大学附属高校特進文化講演会、講師
- 2011年07月16日 「現代日本人の死生観—モノを通じて観念を知る—」夢ナビ講義ライブ、講師
- 2011年09月12日「山と神と日本人」(中国: 東南大学外国語学院学術講演会)
- 2011年10月10日東日本大震災復興ボランティア文化活動「命のウツワ」プロジェクト シンポジウム
- 2011年10月27日「現代日本人にみる『死』への態度の変化」(県立中央病院講演会: 講師)
- 2011年11月19日「柳田國男と仙台」(東北文化公開講演会柳田國男五十年祭記念シンポジウム「柳田國男と東北大学」基調講演)
- 2012年01月19日「東日本大震災における土葬の選択—現代日本人の死者観—」(第20回メレンダセミナー)
- 2012年01月24日「心の相談室と東北の宗教文化」(第2回東日本大震災関連プロジェクト〜心の再生に向けて)
- 2012年02月20日「死者と生者の接点」(仙台豊齢学園ふるさと文化コース講師)
- 2012年05月24日「日本人の信仰構造—仏教と民俗の関わり—」(岩手県曹洞宗現職研修会: 講師)

- 2012年06月08日「現代日本人の死生観の変化—モノから観念を探る—」
(SAカレッジ：講師)
- 2012年07月22日「いま人を弔うということ—鎮魂そして再生へ—」(葬
送の自由を進める会「東日本葬送シンポジウム」：座長)
- 2012年08月27日「東北大学実践宗教学寄附講座における『臨床宗教師』
の構想」(無限洞：講師)
- 2012年10月09日「日本人の信仰構造—仏教と民俗の関ぎ合い—」(真言
宗御室派徳島県青年教師会30周年記念講演：講師)
- 2012年10月27日東日本大震災追悼シンポジウム「震災後、日本人はどう
生きるか—宗教者の見地から—」(司会)
- 2012年11月11日「東日本大震災後の心のケア—東北大における臨床宗教
師構想—」(東北大学105周年萩秋会九州交流会：講師)
- 2012年11月13日「公的領域における宗教の役割」(仙台ロータリークラ
ブ例会・卓話：講師)
- 2012年11月28日「震災からの復興にみる宗教の力」(第34回世界連邦
平和促進全国宗教者・信仰者会議：基調講演講師、パネリスト)
- 2012年12月06日「フィールドからみた宗教—宗教民俗学入門—」平成24
年度宮城県仙台第二高等学校「一日大学」(講師)
- 2012年12月07日「死者と生者の接点」仙台豊齢学園「郷土の信仰」(講
師)
- 2013年02月09日「現代人の信仰生活—宗教と民俗の関ぎ合い—」岩沼健
幸大学(講師)
- 2013年03月04日「東日本大震災後の心のケア—東北大学における臨床宗
教師構想—」(日本記者クラブ：記者会見)
- 2013年06月07日「現代日本人の死生観の変化」(SAカレッジ：講師)
- 2013年06月24日「現代日本人の死後観念—東日本大震災時の土葬採用を
めぐって—」(第691回浅草寺仏教文化講座：講師)

【木村敏明】

<委員>

- ・宮城県岩沼市史編纂委員
- ・宗教文化教育推進センター運営委員
- ・「心の相談室」理事

<公開講座等の講師>

2009年9月5日「インドネシアから考えるわたしたちと宗教」齋理蔵の講座

2010年10月8日「日本人の自然観と宗教―「鯰絵」から見る」岩手県立釜石高校大学出前講座

2011年7月30日「震災体験の共有記録に向けて―東北大学震災体験記録プロジェクトの試み」みちのく図書館職員連合

【山田仁史】

<委員>

- ・海洋文化館展示アドバイザー
- ・味の素「食の文化フォーラム」委員
- ・岩沼市史調査執筆員

<公開講座等の講師>

2009年7月30日「神話からさぐる人類宗教史」東北大学文学部オープンキャンパス

2009年11月26日「首狩と神話から見た人類宗教史：文学部への招待」石巻好文館高等学校 第1学年出前授業

2010年6月25日・8月10日「神話と童話の研究法」宮城野高等学校「総合的学習の時間」

2012年7月13日「神話と首狩の宗教民族学」東北大学リベラルアーツサロン

【滝澤克彦】

<委員>

- ・岩沼市史調査執筆員

【庄司一平】

<委員>

- ・岩沼市史調査執筆員

VI 教員による学会役員等の引き受け状況（2009～2013年度）

【鈴木岩弓】

日本宗教学会 常務理事（2009年～現在）

日本宗教学会 情報化委員会委員（2009年～2011年）

印度学宗教学会 会長（2010年～2012年）

印度学宗教学会 常任理事（2009年～2010年、2012年～現在）

東北民俗の会 会長 (2009年～現在)
「宗教と社会」学会 編集委員 (2009年～2011年)
日本民俗学会 評議員 (2009年～2010年)
日本民俗学会 第62回年会実行委員会委員長 (2009年～2010年)
日本民俗学会 理事 (2012年～現在)
第10回アジア太平洋パストラルケア・カウンセリング学会 第6回日本スピ
リチュアルケア学会合同学術大会大会副会長 (JSSC) (2012年～現在)

【木村敏明】

日本宗教学会 評議員 (2009年～2010年)
日本宗教学会 理事 (2010年～現在)
日本宗教学会 庶務委員会委員(2011年～現在)
日本民俗学会 第62回年会実行委員 (2010年)
印度学宗教学会 常任理事 (2009年～現在)
「宗教と社会」学会 常任委員 (2009年～2011年)
東北民俗の会 常任委員 (2012年～)

【山田仁史】

印度学宗教学会 評議員(2009年～現在)、常任理事 (2009年～現在)
東北民俗の会 常任委員 (2009年～2011年)
日本民俗学会第62回年会実行委員 (2010年)
台湾原住民研究会『台湾原住民研究』編集委員 (2010年～現在)

【滝澤克彦】

印度学宗教学会 事務局総務担当 (2009年～2010年)
東北民俗の会 常任委員 (2009年～現在)
日本民俗学会第62回年会実行委員 (2010年)

【庄司一平】

印度学宗教学会 事務局総務担当 (2011年～現在)
東北民俗の会 常任委員 (2012年～現在)

Ⅶ 教員の教育活動

(1) 学内授業担当 (2013年度)

1 大学院授業担当

鈴木岩弓

宗教学特論 I

宗教学実習 I・II

課題研究

木村敏明

宗教学特論 II

宗教学実習 I・II

課題研究

山田仁史

宗教人類学特論

宗教学実習 I・II

課題研究

2 学部授業担当

鈴木岩弓

宗教学概論

宗教学基礎演習

宗教学基礎実習

宗教学講読

宗教学各論

宗教学演習

宗教学実習

木村敏明

宗教学概論

宗教学基礎実習

宗教学基礎演習

宗教学基礎講読

宗教学各論

宗教学演習

宗教学実習

人文社会序論

山田仁史

宗教学基礎実習

宗教学基礎演習

宗教学実習

宗教学演習
宗教人類学各論

3 共通科目・全学科目授業担当

鈴木岩弓

宗教学

木村敏明

キリスト教史

山田仁史

宗教科教育法 I

宗教科教育法 II

宗教学

庄司一平

宗教学

(2) 他大学への出講 (2009～2013 年度)

鈴木岩弓

宮城学院女子大学 (2009～現在)

東北学院大学大学院人間情報学研究科非常勤講師 (2009～現在)

中国：東南大学外国語学院客員教授 (2011 年度)

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部非常勤講師 (2012 年度)

筑波大学大学院人文社会科学研究科非常勤講師 (2012 年度)

木村敏明

宮城学院女子大学 (2009～現在)

宮城大学 (2013 年度)

東北学院大学 (2013 年度)